

足する値をプロットすればよいが、この計算値は Smithsonian Meteorological Tables (Table 40A, B, C) に出ていることを参考までに述べておく。但しこの tables のみではプロット可能な点が十分に存在しないから、別にグラフを用いて内挿値を算出した方がよい。

(ii) B盤の円弧群を描く場合の縮尺は天気図の片隅に掲示してあるのを使用すればよいが、一般に緯度の間数であり、又天気図の大きさ、図法等により異なることを留意しなければならない。

以上の諸点に留意して実際に作図すれば第3図A, Bのようなものとなる(実物の3/4)。これはU. S. Weather Bureauの Historical Chartに使用する目的でこしらえたものであるが、同様な方法により他の天気図に適合する傾度風尺も作れる筈である。

5. 傾度風尺の使用法

B盤の上にA盤をのせ、中心を合せて鳩目環で止めれ

* 地衡風は別に用意した地衡風尺で読取るが、実際には傾度風尺をこしらえる時にそれを一緒に描き込んで置いた方が便利であろう。

ば二つの盤は自由に廻転し得るようになるが、これを次のような順序で操作すると傾度風が求められる。

(i) 目標の地点の緯度 ψ_1 及び地衡風 V_{gs1}^* を読取る。

(ii) B盤に用いた緯度 ($\varphi=15^\circ, 25^\circ, \dots, 85^\circ$) の中から ψ_1 に最も近いもの φ_1 を選び出す。

(iii) A盤を回転して、A盤の V_{gs1} 目盛をB盤の φ_1 に合わせる。

(iv) B盤の φ_1 軸上に描かれてある円弧群の中から、目標地点の実際の等高度線に合うもの C_1 を選び出す。

(v) C_1 曲線と φ_1 軸の交点 P_1 を通る V_{gr} の値を読取ればそれが求むる値 V_{gr} である。(第4図参照)

6. あとがき

本稿を草するに当り、技術上御親切なる助言を戴いた当課杉本予報官及び日頃格別のお世話になった上松予報課長他幾多の方々には厚くお礼申し上げます。

【寄稿】

ラジオによる天気図記号に関連して

呉 林 肇

4月中の朝日新聞のニュースに教科書の天気図記号の誤りを天気相談所が指摘した事がとり上げられ、又これに対して投書欄に読者の反応が再三のせられていた。

これに関連して、私は決して日本式記号を否定するのではないが、自分の便宜のためにやっているラジオ漁業気象による天気図の書き方を紹介しようと思う。

これは、私の仕事の性質上自然にでき上がってしまったやり方である。つまり、私は測候所の分室の仕事をしているのであるが、ここではその性格上天気図はラジオ漁業気象による天気図が本体で気象無線が従である。そんなわけで例えば内地だけ無線受信して、他はラジオでつけ加えるとか、無線受信中に用が出来てラジオで完成させるとか、ラジオと無線と両方の実況を混用する事がある。又、私は元来測候所員なので、ラジオ天気図を作っても国際式記号が頭から離れない。無線用天気図を使っても日本式天気記号は地点の丸が小さく書きにくい。こんな事が理由である。

1. 等圧線について、普通、等圧線は、2ミリバールおきに偶の整数の等圧線が引かれている。併しラジオの実況は気圧が1位までで小数以下がないので、なれないと整数の等圧線が引き難い。そこで私は右の偶の正数か

ら0.5ミリバール引いた又は加えた値の等圧線を引くことにした。すると同じ等圧線の同じ側には、1つの偶数とそれに隣る奇数とこの2種類のほかに決してくる事がないので、私には大変わかり易くなった。

1. 天気記号について。ラジオ放送の日本式天気を国際式の雲量記号にあてはめ、地上の現象を天気とするものは地点の丸は雲量不明とする。すなわち、快晴○、晴⊙、曇●、雨・⊙、雪*⊙等々。又風力も風速ノットに換算して国際式で記入するわけである。

尚、外国でも日本の漁業気象式の実況放送は勿論されているものと思うがどんな記号が行われているのか、もし行われていれば、日本式というよりむしろ国際式天気略記号及び風力記号(風速記号に対して)として採用すべきと思うがどうか。又現在の日本式記号はすべて各地から送られた気象電報より訳して発表するものと思うが、電文と日本式天気とは一対一で対応できないものもあり、翻訳の不便もあり、又気象庁の実際の仕事を外部に紹介したり見学させたりする際はどうしても国際式が出て来るがどんなものであろうか。

網代測候所伊東分室勤務